

東建 女子学生向けに見学会・勉強会

東京建設業協会（東建、今井雅則会長）は2月28日、都内の大学に通う女子学生を対象に、会員企業2社が手掛ける共同住宅の施工現場見学会「写真上」と女性若手技術者との勉強会「写真下」を開



いた。学生ら12人は現場代理人から現場DXの取り組みなどの説明を受けた後、普段入れない現場に足を踏み入れ、建物の構造や職人が働く様子を見学。20、30代の女性技術者3人と昼食を共にし、建設業界で働く魅力について話を聞

女性若手技術者に仕事の魅力聞く

いた。

現場見学では、第一ヒューテック（東京都新宿区、島谷聡社長）が最先端のDXを用いて建て替え工事を行っている東京都足立区内の都営住宅（RC造6階建て延べ3164平方メートル）と、日本建設



（同千代田区、田和英夫社長）が新築工事を手掛ける中央区内の環境配慮型賃貸マンション（RC造10階建て延べ約1100平方メートル）を見て回った。

築地本願寺で開催した女性技術者との勉強会では、第一ヒューテ

ックで働く入社2年目のマレーシア出身技術者、日本建設で働く入社6年目と同10年目の技術者が自己紹介。「図面からどうやって実際の建物を建てるのか知りたい」「施工を踏まえた設計を実現するための思考力を持つ設計者になりたい」といった動機から、建設業の技術者を目指したと話した。

現場でつらかったことについて学生から問われた3人は「重い物を運んでいると職人さんたちが優しく、すぐ手伝ってくれるので女性でもその点は心配ない」「きついのは天候。外で一日中作業すると暑さ寒さがこたえる」と回答。中小規模の建築現場の魅力についても触れ「基礎から竣工まで躯体全ての計画に携われて面白い」などと語った。